

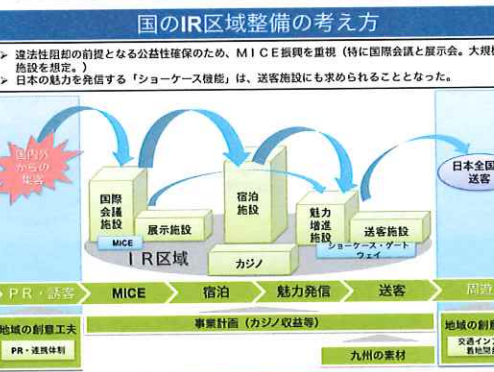
日本型IRとは

平成28年12月公布 特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（IR推進法）

平成30年7月公布 特定複合観光施設区域整備法（IR整備法）

平成31年3月公布 特定複合観光施設区域整備法施行令（IR整備法施行令）

- これまでにないスケールとクリエイティビティを有する総合的なリゾート施設として世界中から観光客を集める
- 日本各地の豊かな自然、固有の歴史、文化、伝統、食等の魅力を紹介する
- IR区域への来訪客を全国各地に送り出すことにより、IRが世界と日本の各地とをつなぐ交流のハブとなる
- 世界中から観光客を集める滞在型観光の推進に資するもの
- これまでにないような国際的なMICEビジネスを展開し、新たなビジネスの起爆剤となるもの



MICE施設の要件

国際会議場施設	展示等施設
カテゴリ① 「一般的な規模」 (多数開催) 1,000人以上収容 大会議室 + 中小会議室群 27㎡以上	カテゴリ① 27㎡以上
カテゴリ② 「大規模」 (一定数開催) 3,000人以上収容 大会議室 + 中小会議室群 複数の「カテゴリ①」 6時間開催 6万円以上	カテゴリ② 複数の「カテゴリ①」 6時間開催 6万円以上
カテゴリ③ 「極めて大規模」 (開催数が限定的) 6,000人以上収容 大会議室 + 中小会議室群 複数の「カテゴリ②」 6時間開催 12万円以上	カテゴリ③ 複数の「カテゴリ②」 6時間開催 12万円以上

【参考】我が国の主な国際会議場施設・展示等施設の概要

順位	施設名	最大の国際会議場の収容人数	国際会議場全体の収容人数	順位	施設名	有効総面積等
1	東京国際フォーラム	5,012人	10,642人	1	東京ビックサイト	95,420㎡
2	パシフィコ横浜	5,002人	11,276人	2	幕張メッセ	75,098㎡
3	シーガイアコンベンションセンター	3,300人	5,959人	3	インテックス大阪	70,078㎡
4	名古屋国際会議場	3,012人	9,868人	4	名古屋国際展示場	33,946㎡
5	福岡国際会議場	3,000人	5,047人	5	パシフィコ横浜	20,000㎡
6	大阪府立国際会議場	2,754人	8,578人	6	石川産業展示館	17,718㎡
7	大宮ソニックシティ	2,505人	5,023人	7	西日本総合展示場	16,517㎡
8	札幌コンベンションセンター	2,500人	5,637人	8	神戸国際展示場	13,600㎡
9	国立京都国際会館	1,840人 (4,684人)	11,754人	9	マリニッセ福岡十福岡国際会議場	13,540㎡
10	長良川国際会議場	1,689人	2,412人	10	サンシャインシティ・コンベンションセンター	12,513㎡

宿泊施設の要件

(1) 全ての客室の床面積の合計が、おおむね10万㎡以上であること。

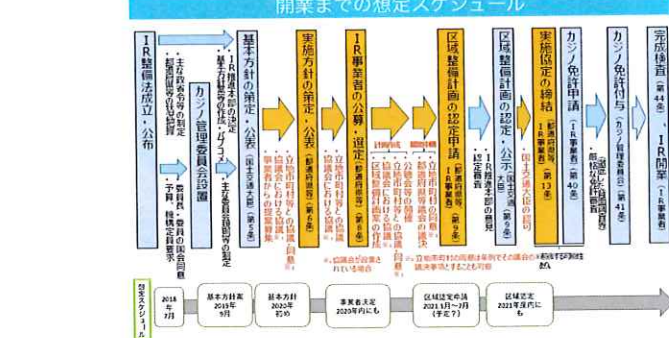
(2) 以下の①～③が国内外の宿泊施設の実情を踏まえ適切なものであること

①客室のうち最小のもの面積
②スイートルームのうち最小のもの床面積
③客室の総数に占めるスイートルームの割合

	40㎡?	70㎡?	20%?	2,500室?
スイートルームの最小客室面積の平均	67.0	65.6	58.7	64.1
最小客室面積の平均	39.7	40.0	29.0	17.7
総客室数の平均	273	2,495	930	1,554
スイートルーム数の平均	35	617	47	28
スイートルーム割合の平均 (%)	14.8	19.2	5.3	2.3

丸が値を代表する宿泊施設の概要

ホテル名	総客室数	スイートルーム数	スイートルーム割合	スイートルーム面積	客室数
東京マリオットホテル	931	56	6.0%	58	31
ホテルニューオータニ	1,479	63	4.3%	52	23
平均	950	47	5.1%	58.7	29.0



自治体の進捗状況 ※2020年1月現在

	大阪府	長崎県	和歌山県	横浜市	北海道	千葉県	東京都	名古屋市	愛知県	北九州市
申請予定/検討中 (+観光庁調査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
RFI ※任意 (情報提供依頼)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
誘致表明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
関係予算議決 (事業者選定等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アドバイザー選定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
RFI ※任意 (コンセプト募集)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施方針策定	11/21 策定済	12/29 策定済	12/29 策定済	11/29 見送り	01/07 見送り					
事業者の公募・選定	12/24 公募									
区域認定申請										
区域認定										

九州・長崎IRの優位性 ～世界に誇れる国際観光拠点の形成～

- ＜比較優位＞**
 - 海に囲まれた一帯の土地 (31ha)
 - 公共インフラが整った一帯に位置
 - 既存ターミナルの敷地の一部であり、都市インフラ整備済 (仮設駅は後援セグメント)
- ＜交通＞**
 - 海上空路の長崎空港から、ヘリ10分、船30分、バス50分
 - 3ツツバーにおいて、スーパーヨット等の停泊も可能。(アイルランドホッピング等)
 - 年間約300万人 (観光客約100万人) の要入国実績あり
 - 車で2時間圏内に3つの国際空港 (自家用線を含む十分な発着枠)
- ＜発展と安全・安心＞**
 - 観光需要が急速に拡大するアジアとの近接性
 - 九州の豊富な観光資源 (国内4,563万海外767万)
 - 半徑1,500km以内のアジアの人口は約10億人 (国内IR候補地で最大規模)
 - すでに政府、関係団体、事業者が連携したジャンル別連携を推進
 - 健康長寿につながる自然あふれるリラックスした滞在空間
 - 災害時には滞在拠点や物資の供給拠点として活用可能

九州・長崎IR 導入意義と目標

我が国におけるMICE開催件数の増加

2030年に訪日外国人旅行者を6,000万人、消費額15兆円とする政府目標達成の後押し

訪日外国人旅行者の国内各地の観光地への訪問の増加

IRによる九州への誘客の増加が日本全体の外国人観光客の増加に大きく貢献

期待される効果

IRは多様な産業と関係

IRは、建設、施設運営、輸送、観光、レジャーなど多様な地域の産業と結び付く、裾野が広い観光施設です。IRの導入により、さまざまな分野で、新たな雇用の創出や経済効果が期待できます。

建設：建設費の増大、建設、資材生産、運搬などに新たな需要が生まれます

施設運営：施設との取引により、地域の多くの産業にビジネスチャンスが生まれます

観光・レジャー：IRを玄関口として、県内外の観光地や商業施設などに多くの人が訪れ、新たな観光客が生まれます

輸送：観光客の増加により、鉄道、航空、船、バス、タクシーなどの利用客が増加します

多様かつ質の高い雇用

シアタープロダクション
動物・衛生研究
コンプライアンス
テーマパーク・ライドエンジニア
環境保護
海洋球乳輪とレニング
イベントプランニング
SPAフェルネス・プランニング
営業&マーケティング
建築デザイン

⇒ 900種以上の職種



地元からの調達

※シンガポール1Rの事例

設計・デザイン
建設
土木技術サービス
エンジニアリング
ビルメンテナンス
園芸・植物栽培サービス
家具及びその据付
清掃サービス
ハウスキーピング
廃棄物処理サービス
害虫駆除
リノールの裝飾
貨物運送サービス
物流サービス
厨房設備・食品機器サービス
食材の供給
保安・警備サービス
医装サービス

ITサービス
衣従及び制服の製造
洗濯・クリーニングサービス
人材リクルート・派遣・育成
従業員カフェテリア(食堂)
従業員の送迎サービス
観光バス・シャトルサービス
VIP/MJシンジケート
旅行代理店
オフィスサプライ
印刷
写真制作・映像制作
バー（小売り）
レストラン
ケータリング
エンターテインメントサービス
イベントサービス
広告・プロモーション 他

⇒ 地元企業との契約割合 80%以上

若者の県内就職！
雇用の掘り起し！

地元企業の新たな
ビジネスチャンス！

交通アクセスの強化



- 福岡方面からのアクセス強化
・鉄道強化 ・道路整備
- 長崎空港の利便性向上
・24H化 ・国際便増強 他
- 長崎空港からのアクセス強化
・海上交通 ・道路整備
- IR施設周辺の渋滞対策
・パーク&ライド ・道路整備 他
- IR発の周遊観光
・空港間連携 ・クルーズ連携 他

- ハустエンボスの集客実績：年間約300万人（最大4万人/日）
- IR開業に向けて年間約1000万人送客可能な体制を整える
- 特に最寄空港から30分以内のアクセス確保を重視

国際観光人材の育成

①観光人材育成のための産学連携コンソーシアムのイメージ

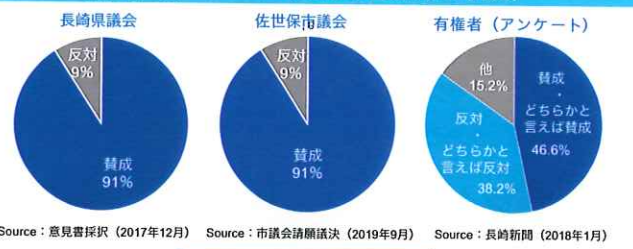
- ✓国が定める観光人材育成の方向性を踏まえ、産学が一体となった九州・長崎IRを起点とする体系的な観光人材育成を目指す。
- ✓特に、経営人材から業務人材に至る観光人材の育成は、高等教育機関とIR事業者をはじめとする観光事業者とのコンソーシアムを構築し、産業界のニーズを踏まえた体系的な人材育成の仕組みを構築する。
- ✓また、上記のような仕組みが構築されることで、関係高等教育機関への入学や就職等への若年層の就職が拡大し、地元産業者等の地方創生の面からも大きな効果が期待できる。



②九州・長崎IRを起点とする観光人材育成の全体イメージ



合意形成について（県内の合意形成状況）



最大3箇所のIR区域認定に向けて準備中

- 長崎県議会、佐世保市議会では、それぞれ、「IR・観光振興対策特別委員会」、「IR推進特別委員会」を設置（2019年）。
- 長崎県及び佐世保市はIR導入のための予算を計上（H30年度：2.0億円、H31年度：2.3億円 ※県1/2、市1/2）

依存症対策

- 本人確認
マイナンバーカード
- 回数制限
7日間で3回、及び
28日間で10回
- 入場料
6,000円/回

青少年対策

- 入場制限
20歳未満は禁止
- 広告・勧誘制限
入場禁止の旨を表示
区域外での広告禁止

治安対策

- 入場制限
暴力団関係者は禁止
- 治安維持
犯罪発生を予防
周辺秩序の維持

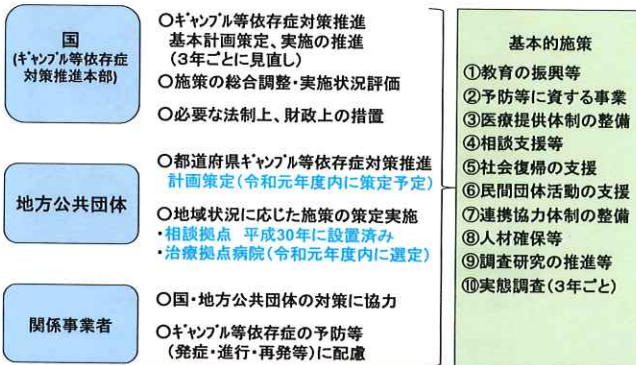
犯罪防止対策

- 事業者の廉潔性
免許制
徹底的な背景調査
- マネーロンダリング防止
疑わしい取引は届出義務

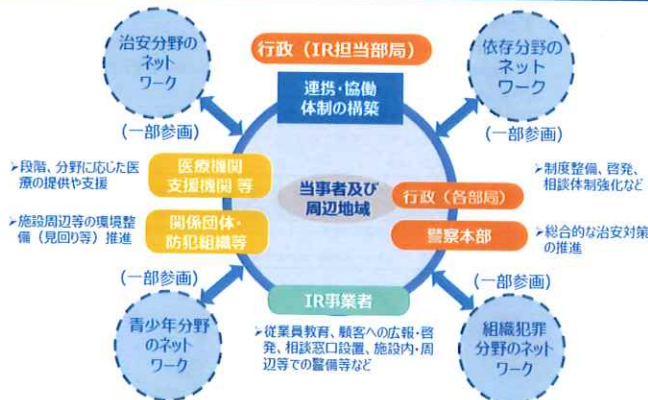
ギャンプル等依存症対策基本法（参考）

平成30年7月6日可決成立
7月13日公布 法律第74号

※IR整備法案の審議に先行して審議され、可決成立



連携・協働体制の構築のイメージ



懸念事項対策

- ①シンガポールにおける
ギャンプル依存症有病率の推移
- ②シンガポールにおける
人口10万人あたりの犯罪認知率



司 会 / 榎屋 健
写真撮影 / 高木 潤

創 立 / 昭和49年4月30日
創 認 / 昭和49年5月22日
例会日 / 毎週水曜日 12 : 30 ~ 13 : 30
例会場 / 長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局 / 長崎市目覚町8-11-301
TEL843-6635/FAX845-9411
URL http://nerotary.org/

本日のメニュー

	全員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up	免除者	修正出席率	出席率
2月12日	40	30	9	1		79.5	
2月26日	40	30	8		2		78.9

月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	76.8	79	77.7	79.8	71.7	71.7	79.7	75.1	73.6	78.2	74.4	77.3
本年度	82.1	81.3	81.3	74.4	77.5	78.4	81.6					